

「旧アルバム」より～

## 昭和初期の写真①『五反田駅乗越跨線橋』

今のようにデジカメが一般に出回る前は、紙焼きの写真やマイクロフィルムで工事用の記録を残していました。

残念ながら、過去の多くの記録は失われてしまいましたが、現存する写真をいくつか紹介します。



1928年(昭和3年)3月15日 芝浦工場



1928年(昭和3年)5月17日 架設中



1928年(昭和3年) 6月1日 架設中



1928年(昭和3年)6月17日  
池上電気鉄道(現在の東急電鉄)五反田駅が開業

当社の前身である「合資会社東京鐵骨橋梁製作所」が清水組から分離独立して設立されたのが、1928年(昭和3年)2月15日です。  
この日は、社名が「日本ファブテック」に変更されるまでの「東京鐵骨橋梁」としての90年近くに亘る歴史の中で、「創立記念日」となりました。  
当社の第1号橋梁と云われる「五反田駅乗越跨線橋」を受注したのは、その前年のことで、その当時の当社はまだ「清水組の中の一部門」でした。

なお、池上線の五反田駅が高架上につくられた理由は、この路線が五反田駅を越えて白金や高輪方面まで延伸する計画だったからです。